



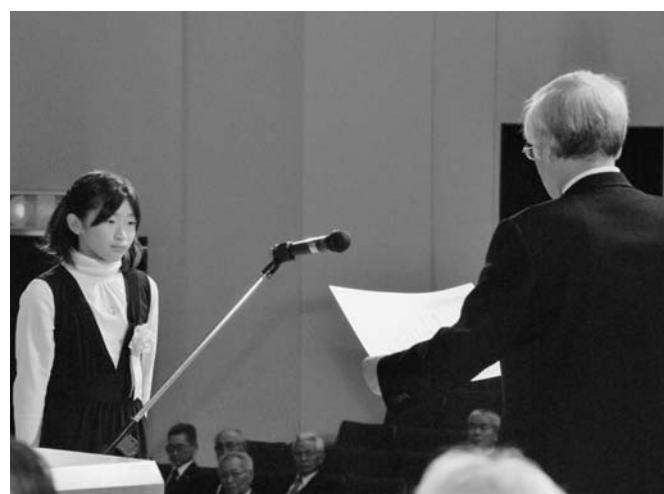
# 模範となる皆さんに心から 拍手を! 寄居町合同表彰式

町では、11月14日に中央公民館ホールで「寄居町合同表彰式」を行いました。

当日は、町の教育文化の向上と産業経済の振興に貢献された方をたたえる「石澤・高田賞」をはじめ、町政の振興発展などに貢献され、広く町民の模範となる個人・団体を表彰する「寄居町表彰」や「国民健康保険健康世帯表彰」「公衆衛生連絡協議会献血協力者表彰」「商工会永年勤続者表彰」「交通安全ポスター・作文コンクール」の表彰が行われ、会場から盛んな拍手が贈られました。

# 寄居町表彰

「寄居町表彰」は、町政の振興発展や保健衛生の改善向上、教育文化の向上などに貢献され、広く町民の模範となる功績をあげた個人や団体を表彰するものです。今年は9人の方々と、1団体が受賞されました。 〈敬称略〉



A black and white photograph capturing a moment of quiet contemplation. A man in a dark suit and tie stands in the center-right of the frame, his body angled slightly to his right. He holds a large, light-colored envelope or document in his hands, looking down at it intently. His glasses reflect the light, adding to the somber atmosphere. To his left, the back of another person's suit jacket is visible, suggesting a formal event or ceremony. The background is a plain, dark wall, which provides a stark contrast to the subjects' attire. The lighting is dramatic, casting deep shadows and highlighting the contours of the suits.

A black and white photograph capturing a moment during a formal event. On the left, a young woman with dark hair, wearing a white blouse and a dark vest, stands behind a podium, looking towards the right. A microphone is mounted on a stand in front of her. On the right, a man with light-colored hair, dressed in a dark suit and tie, is seen from the back, holding a large, open sheet of paper. In the background, several people are seated in rows, their backs to the camera, creating a sense of an audience in a theater or conference hall. The lighting is dramatic, with strong highlights and shadows.

産業経済功劳

「石澤・高田賞」は、故石澤義夫氏と故高田金七氏からの寄附金を積み立てて活用しているもので、昭和58年から実施しています。両氏の偉大な業績と遺徳をしげび、教育文化の向上と産業経済の振興に貢献された個人や団体をたたえる賞です。『石澤・高田賞功績概要』から、受賞された大島弘一さんの功績を紹介します。



大島 弘一さん(栄町)

氏は、昭和39年に寄居町観光協会に入会以来、平成16年に退会するまでの40年間、常任理事として寄居町の観光事業の発展に尽力した。特に、この間平成8年から16年までの8年間は、寄居町観光協会企画総務委員会の委員として、各種事業の立案や改善に努め、観光振興を通じて、町の産業・経済の発展とともに、歴史・文化活動の継承や発展にも貢献し、その功績は多大である。

# 石澤・高田賞

氏は、昭和39年に寄居町観光協会に入会以来、平成16年に退会するまでの40年間、常任理事として寄居町の観光事業の発展に尽力した。特に、この間平成8年から16年までの8年間は、寄居町観光協会企画総務委員会の委員として、各種事業の立案や改善に努め、観光振興を通じて、町の産業・経済の発展とともに、歴史・文化活動の継承や発展にも貢献し、その功績は多大である。

## 2. 歴史・文化の継承及び発展に貢献

観光振興事業の大きな柱である歴史・文化の継承及び発展に貢献した。特に寄居北條まつり、寄居玉淀水天宮祭及び寄居秋まつりなど、伝統文化については、多くの参加者や来場者の増加を目指し、各種手法を凝らしたPRや外国人の参加を促すなど、文化交流にも努めた。

また、鉢形城の積極的活用にも取り組み、歴史ある遺産を守りながら、観光資源との融合を促進することにより、来訪者の増加を図り、地域振興や商業振興にも多大な貢献をした。

一方で、利用者にも公共の場場を美しく大切にするという意識が醸成された。また、快適な観光やハイキングが行えるよう、各ハイキングコース内への観光トイレ設置の必要性を提言した。その結果、コース内各所にその設置が実現し、ハイカー等の利便性の向上を図ることができた。

実現し、その結果、釣り客の增加を図ることができ、大きな経済効果をもたらした。内 3、環境美化等に対する貢献  
水と緑に代表される寄居町は、三間を通じて、県内外